

## 増加するキャンプ需要！ キャンプ用品の取り扱いにご注意

新型コロナウイルス感染症の影響で、3密（密閉、密集、密接）を避け、ソーシャルディスタンスを保つことのできるレジャーの一つとして、自然の中で過ごすキャンプの需要が高まっています。キャンプで使用するキャンプ用品は、取り扱いを間違えると、やけどや一酸化炭素中毒などの重篤な被害になるおそれがありますのでご注意ください。

事例をご紹介します。

- ・ ベランダで2口のカートリッジガスコンロを使用中、器具栓つまみを無理に回したため接続部が破損した。破損した接続部にガスカートリッジを無理に取り付けようとしたことでガスが漏れ、ガスカートリッジ付近から出火した。
- ・ カートリッジガスコンロをレンガで囲った状態で使用したため、囲まれた空間の温度が上昇し、ガスカートリッジが加熱されて内圧が上昇し、破裂し出火した。

ガスカートリッジは、取扱説明書の指示に従って正しく接続しましょう。誤って接続された状態で使用すると、ガスが漏れ、火災になるおそれがあります。接続後に異音や異臭がある場合、ガスが漏れているおそれがありますので、直ちに使用を中止してください。

コンロ全体を覆う大きさの鍋を使用したり、コンロの周囲を囲ったりすると、ガスカートリッジが加熱され、プラスチックの部品が溶けて破裂するおそれがあります。ガスカートリッジが加熱されないように使用しましょう。

また、テントの中などの換気が不十分な場所でたき火をしたり、ガスカートリッジコンロなどを使用したりすると、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。必ず屋外の風通しのよい場所で使用しましょう。

万が一、事故が起きた場合は、事故情報として消費者庁に報告しますので、お近くの消費生活窓口にご連絡ください。

（過去に起きた製品事故は独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のウェブ検索サービス「Safe-Lite（セーフ・ライト）」で簡単に調べられます。）